



2024年10月16日

各 位

会社名 日本製麻株式会社  
代表者名 取締役社長 山村 貴伸  
(コード番号 3306 スタダード市場)  
問合せ先 執行役員総務部長 詫間 耕一  
電話番号 078-332-8251

### 新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは第98期から第100期（2026年3月期から2028年3月期）までの3年間を計画期間とする新中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 新中期経営計画の方針

この新中期経営計画は、上場企業として、持続的かつ安定した成長と高収益体質への転換を図り、主要3事業（食品事業、産業資材事業、マット事業）の基盤強化に加え、新事業の開発を推進し、顧客への価値提供と満足度の向上を図り、企業価値をさらに高めることを目指します。

#### 2. 各事業別施策

- ① 食品事業につきましては、北陸の自然に恵まれた砺波地方で食品加工の専門技術を生かし、多品種生産により、お客様の化するニーズに的確にお応えしながら、より安心・安全な食品の開発・生産を目指します。  
北陸工場の生産能力の拡大を図るため、2025年秋の稼働予定でレトルト工場を増設いたします。
- ② 産業資材事業につきましては、地球に暮らす人々にやさしい天然素材の麻素材を農業資材から生活資材まで、お客様の幅広いニーズにお応えし、環境の再生・保護を通じて社会に貢献します。
- ③ マット事業につきましては、永年培ってきた独自の技術によるカーマットの開発、生産により高品質を維持しつつ、納期を厳守し、世界の皆様からのニーズにお応えして参ります。

従業員のスキルアップを図り、人財の多様性を進め、従業員満足度の向上を図ることで、創造性と挑戦力にあふれた組織風土の醸成を目指します。また、サステナビリティ課題へも積極的に取り組んでまいります。

#### 3. 数値目標

	当期見込み	2026年3月期 (目標値)	2027年3月期 (目標値)	2028年3月期 (目標値)
連結売上高(百万円)	3,886	4,318	4,541	4,646
連結営業利益(百万円)	226	136	203	195

#### 4. その他

詳細については、添付資料をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている内容は、現時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として保証するものではありません。また、実際の業績は、今後の事業環境の変化やその他様々な要因により本資料の記載内容と異なる可能性があります。

以 上

日本製麻株式会社

# 中期経営計画 2025



日本製麻株式会社 代表取締役社長 山村 貴伸



日本製麻株式会社

1. 経営理念・ビジョン
2. 【トピック】食品事業 北陸工場の増設
3. 事業部別戦略
4. 人的資源戦略
5. 数値計画・投資計画
6. サステナビリティ課題への取り組み

## 経営理念

健全な事業活動を通じて地域社会に貢献し、  
持続的な社会の創造に向けて繋がり、絆を大切にして  
ステークホルダー、お取引先、地域社会の人々、  
社員を含め豊かな社会を実現する。

## 顧客創造・創意工夫

上場企業として、持続的かつ安定した成長と高収益体質への転換を図り、主要3事業（食品事業、産業資材事業、マット事業）の基盤強化に加え、新事業の開発を推進し、顧客への価値提供と満足度の向上を図り、企業価値をさらに高めることを目指します。

### 食品事業

主な製品:レトルト(※)、パスタ  
※カレー、パスタソース

北陸の自然に恵まれた砺波地方で食品加工の専門技術を生かし、多品種生産により、お客様の变化するニーズに的確にお応えしながら、より安心・安全な食品の開発・生産を目指します。

### 産業資材事業

主な製品:麻袋、紙袋、合材シート

地球に暮らす人々にやさしい天然素材の麻素材を、農業資材から生活資材まで、お客様の幅広いニーズにお応えし、環境の再生・保護を通じて社会に貢献します。

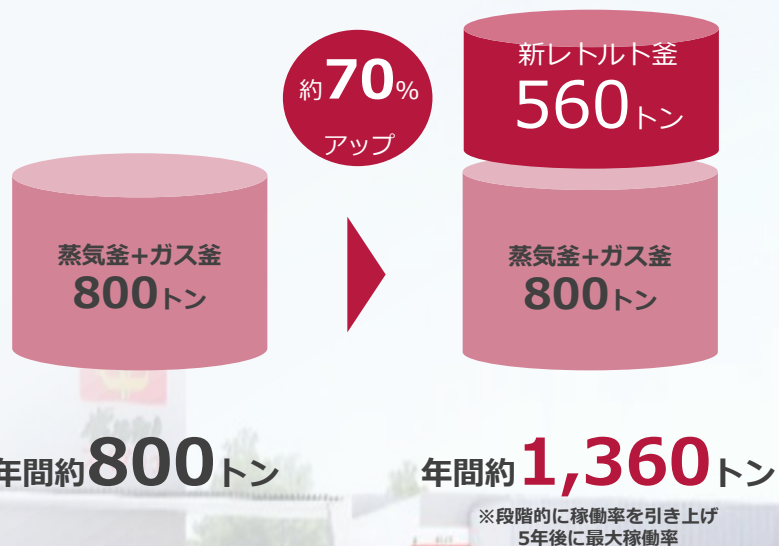
### マット事業

主な製品:自動車用フロアマット

永年培ってきた独自の技術によるカーマットの開発、生産により高品質を維持しつつ、納期を厳守し、世界の皆様からのニーズにお応えして参ります。

## レトルト製品生産能力の拡大

新規にレトルト釜を設置し、生産能力を大幅に拡大する。



## 完成イメージ



## レトルト製造工場の増設

既存のレトルト工場の隣に、  
新たにレトルト工場を増設する。

(2025年秋より稼働開始予定)

工場敷地面積：24,175㎡

うち、既存レトルト工場：811㎡

レトルト新工場：956㎡

投資総額：約10億円

(レトルト新工場：約7.5億円+  
新排水処理設備：約2.5億円)



## ボルカノ食品事業部 VOLCANO FOODS DEPT.





## 内部環境

### 1) 強み（味・品質等）

- ①職人技による「再現性」
- ②「ニッチで尖った製品」アイテム多数
- ③大手食品問屋との良好なビジネス関係

### 2) 内部課題

- ①小規模・アナログ設備による高コスト体系
- ②PB・OEM製品が多数を占める
- ③製造能力が比較的小さい

## 外部環境

### 1) 市場動向

- ①国内レトルト市場の約4割をカレーが占める
- ②食の利便性・簡便性へのニーズが高まり、常温保管が可能なレトルト食品の需要が堅調に伸びている
- ③製造技術の進化・高品質化により「本物志向」が進む
- ④災害保存食としての市場が拡大

### 2) 競合状況

- ①大手メーカーによる寡占化が続く
- ②レトルトOEMメーカーが数多く存在



- 【製品群の多様化】新たに業務用チルドカレーの製造を開始
- 【PB・OEM製品開発】新規顧客の獲得
- 【輸出】プレミアムレトルトカレー&パスタソースの輸出

## 内部環境

### 1) 強み（味・品質等）

- ①富山の水を使用した日本初の国産パスタ
- ②デュラムセモリナと強力粉のブレンド麺
- ③太麺タイプにおいて高いシェア
- ④業務用の市場・顧客から高い支持

### 2) 内部課題

多品種小ロット生産型のため、製造コストが高い


## 外部環境

### 1) 市場動向・市場課題

- ①コロナ明け、インバウンドによる需要回復
- ②物価高騰による節約志向の加速
- ③人手不足による外食産業の統廃合が進む
- ④個食化、本物志向、健康志向が強まる
- ⑤食の利便性・簡便性のニーズが高まり、冷凍・総菜の需要増加

### 2) 競合状況

- ①国産パスタ市場は成熟化
- ②輸入パスタ比率が高い
- ③大手パスタメーカーの寡占状態

- 
- 【安定成長路線への転換】 差別化製品としての太麺の拡販、大手・専門問屋を通じた業務用拡販、EC通販の強化による売上とブランド力UP
  - 【ニッチ戦略強化】 有名店・専門店との連携、PB製品での採用拡販
  - 【OEM強化】 異業種との新規PJ、他パスタメーカーとの連携模索
  - 【戦略的輸出】 新規パートナーとの連携模索

産業資材事業部

INDUSTRIAL MATERIALS DEPT.



## 内部環境

- ・ 産業資材における豊富な知識と長年の経験
- ・ 麻製品のメインサプライヤーであるインドメーカーとの強固なパートナーシップ

## 外部環境

- ・ コスト増につながる円安、麻袋製品の競争激化
- ・ 荷役業務効率化を背景に、紙袋からフレコンへの切替え需要が拡大



- 【市場浸透】 農業資材に利用されている麻袋製品の安定供給  
紙袋からフレコンへの切替え提案の推進
- 【新市場開拓】 合材工場、運送会社向けの麻布の保温シートの販売を強化
- 【新製品開発】 麻製品の海洋分野、建築資材分野への新用途の商品開発を加速

マット事業部

FLOOR MAT DEPT.



## 内部環境

- ・ 子会社での原反製造から製品製造までの一貫生産体制
- ・ 多様な製品ラインに対応でき、品質管理、品質保証体制も確立
- ・ 海外自動車メーカーへの販売チャネルを保有、販売台数上位10社のうち7社と取引実績あり

## 外部環境

- ・ 国内の新車販売台数の増減
- ・ 世界的な電気自動車市場の拡大  
(2023年販売台数は前年35%増)
- ・ 生産拠点であるタイ国のカントリーリスク



- 【市場浸透】 既存顧客への販売拡大
- 【新市場開拓】 海外メーカーのEV車両販売の新規開拓(特に、中国EV)
- 【新市場開拓】 欧州車・韓国車窓口の新規開拓

## 従業員スキルアップ

階層・職種別研修、資格取得支援の充実を図り、その成果が反映される評価制度の構築

## 人財の多様性

多様な人財（特に女性、65歳以上）の受け入れ可能な雇用形態、報酬制度の整備

## 従業員満足度の向上

面談の充実により、相互理解、会社・社会への貢献を実感  
DX化を推進し、省力化により、労働時間の短縮を図る

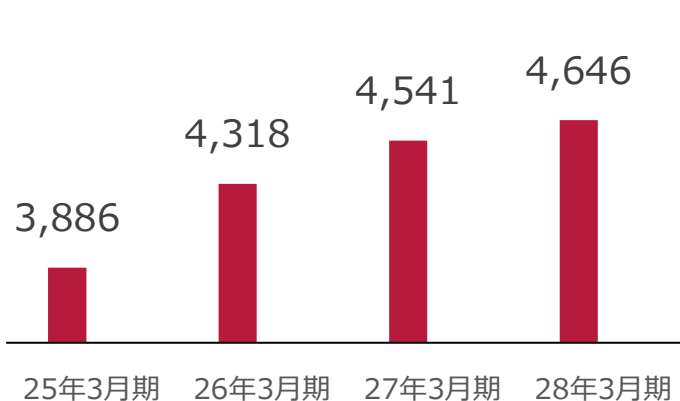


創造性と挑戦力にあふれた組織風土の醸成を目指す

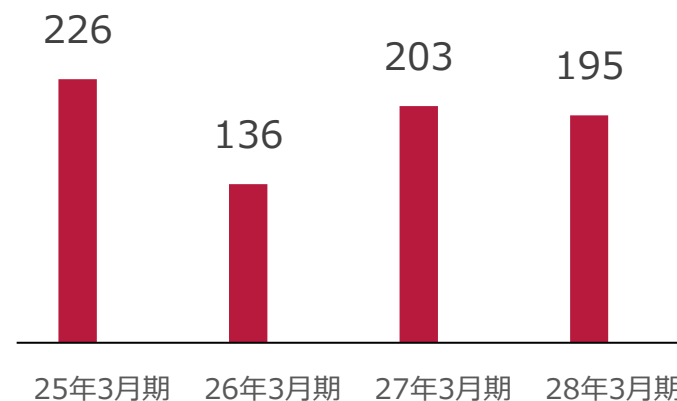
## 中計

	25年3月期 (見込み)	26年3月期 (目標値)	27年3月期 (目標値)	28年3月期 (目標値)
連結売上高 (百万円)	3,886	4,318	4,541	4,646
連結営業利益 (百万円)	226	136	203	195

【売上高】



【営業利益】





## キャッシュ・アロケーション計画

### 成長投資

レトルト製造  
工場増設投資

**10.1億円**

### 人財投資

業務エリアの拡  
大、人員増強、  
人財育成

**1.1億円**

### 設備投資

DX化に向けた  
IT投資、生産設  
備の機能強化投  
資等

**0.9億円**

### 株主還元

配当性向  
**15%~20%**  
を目指す

# サステナビリティ課題への取り組み

## 環境 (E)

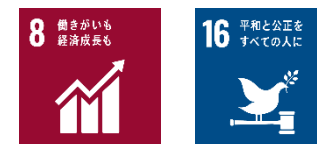
- **気候変動への取り組み  
地球環境保護**
  - ・黄麻素材の特性を活かした新製品の開発、廃棄物低減
- **食品ロス削減の取組**
  - ・生産技術の改善、製品の安全性・安定供給の確保により、生産効率向上

## 社会 (S)

- **働きやすい環境**
  - ・従業員のスキル向上に向けた教育、多様な人財の採用・起用、労働環境の整備を積極的に実施
- **地域経済への貢献**
  - ・砺波市の新工場建設による雇用の創出

## ガバナンス (G)

- **コーポレートガバナンス**
  - ・株主およびステークホルダーへの的確な情報開示
- **コンプライアンス徹底**
  - ・企業倫理と法令遵守





日本製麻株式会社